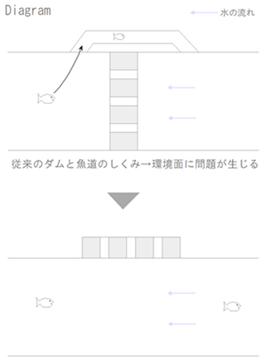
巨大生物のような…えさは水

吸水スポンジで造り出す新時代のダム環境デザインを提案する。
ダム本体のマテリアルをコンクリートから吸水スポンジに変えることで川を堰き止めるというダムの概念を打ち破る。
そこで生まれるのは、川の地形に沿ってできたダムである。
このダムは１つで完結するのではなく無数に分散して互いに補完しながら成り立っている。
そのため数や大きさは川の流量によって決まる。
スポンジ内に伸縮可能な柱が入っていて、それが伸縮することで給排水し、外形もまた変化する。
人々はその変化に惹かれ、集い始める。

もはやダムではない。
水を餌に成長する巨大生物のように…

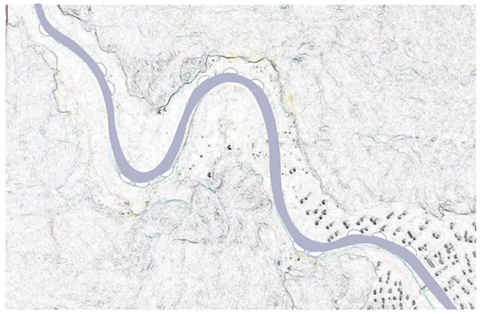
Diagram



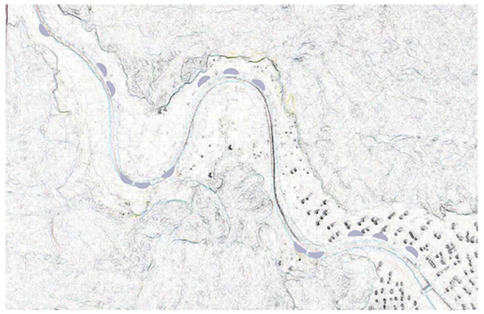
従来のダムと魚道のしくみ→環境面に問題が生じる

ダムと魚道を変換→自然に近いダム環境

Water Flow



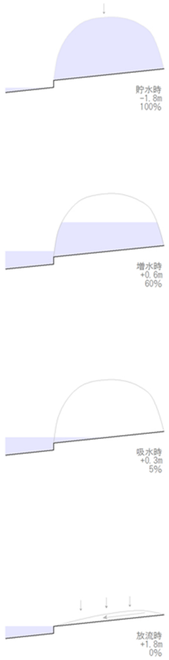
吸水スポンジが空隙で満たされた状態。川の流れは穏やかで通常時を示している。



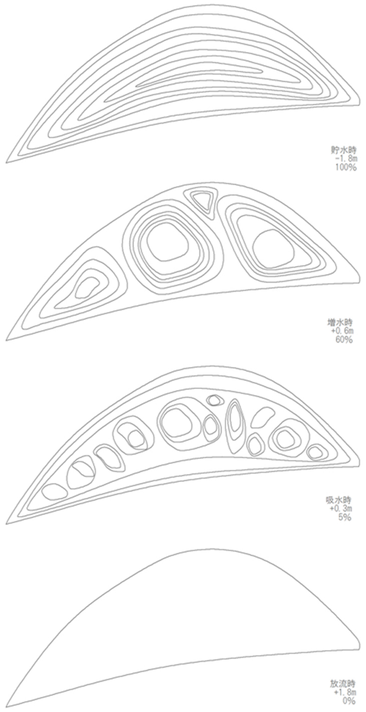
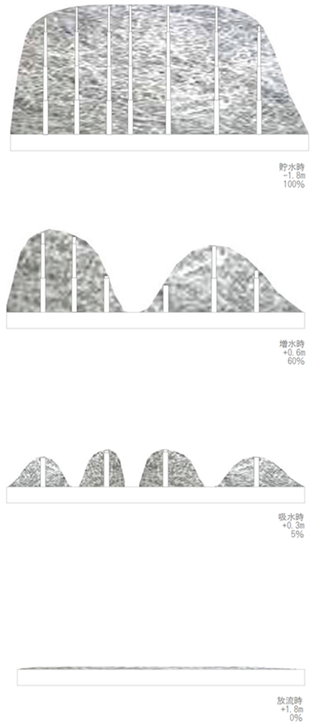
吸水スポンジが水で満たされた状態。川は干水状態となるが、吸水スポンジに水が貯水される。

Stock water flow 1:1000

水を自動吸水するスポンジは、
貯水し、絞ることで放流する。



Water Line Plan 1:1000



Structure section 1:1000